

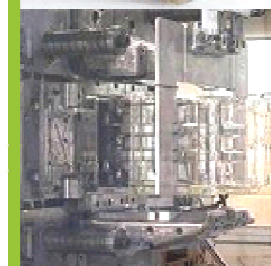
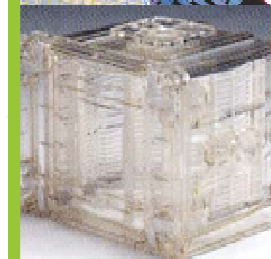
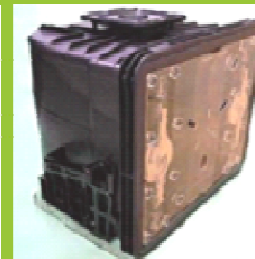


ミライアル株式会社

2017年1月期 第1四半期 決算説明資料

2016年6月9日

2017年1月期 第1四半期決算概要
2017年1月期業績予想
経営戦略



2017年1月期 第1四半期決算概要

1. 業績概要

(単位:百万円)

	2017年1月期 第1四半期		2016年1月期 第1四半期	
	金額	前年同期比	金額	
売上高	1,833	△23.1%	2,384	
(利益率%)	(10.6%)	(△0.6%)	(11.2%)	
営業利益	194	△27.1%	267	
経常利益	214	△37.3%	342	
特別損益	△ 491	-	△ 48	
当期純利益	△ 208	-	189	

設備投資	2,862	2,839	23
減価償却費	67	△ 67	134

トピックス

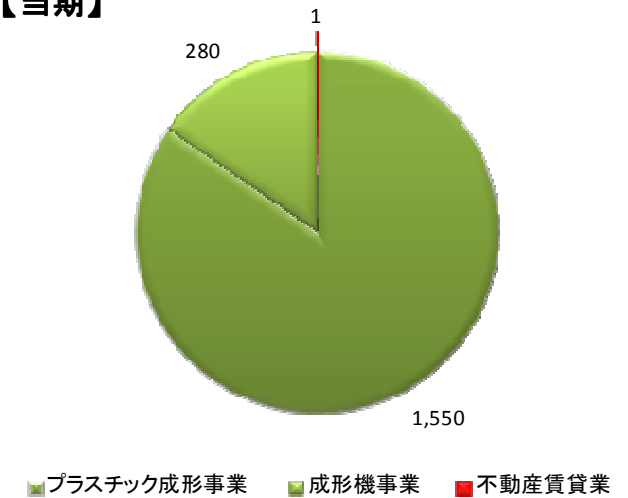
1. 特別損失の主な内訳

- ・固定資産の原状回復費用 △354百万円、営業停止期間中の固定費 △68、
- ・投資有価証券評価損 △55

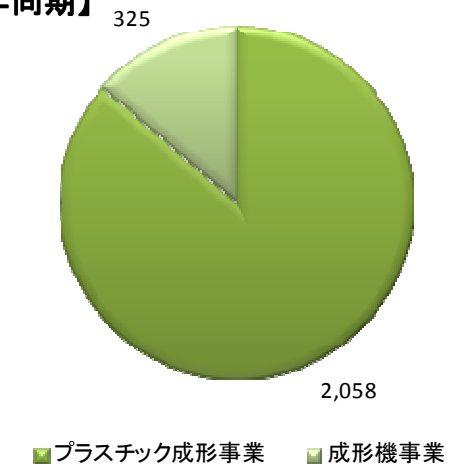
2. 設備投資 自社ビル関連 2,823百万円

2. セグメント別売上高

【当期】

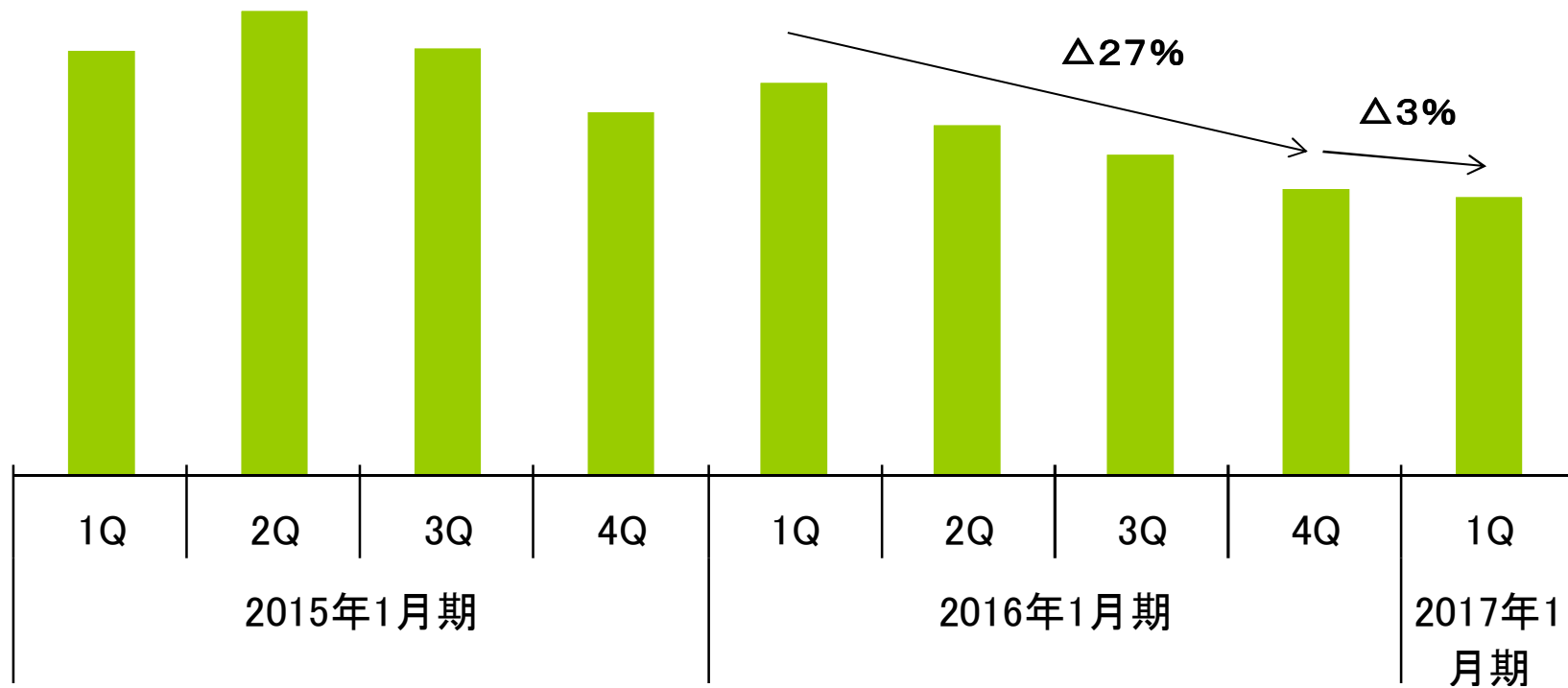


【前年同期】





シリコンウエハ出荷容器の売上高の傾向





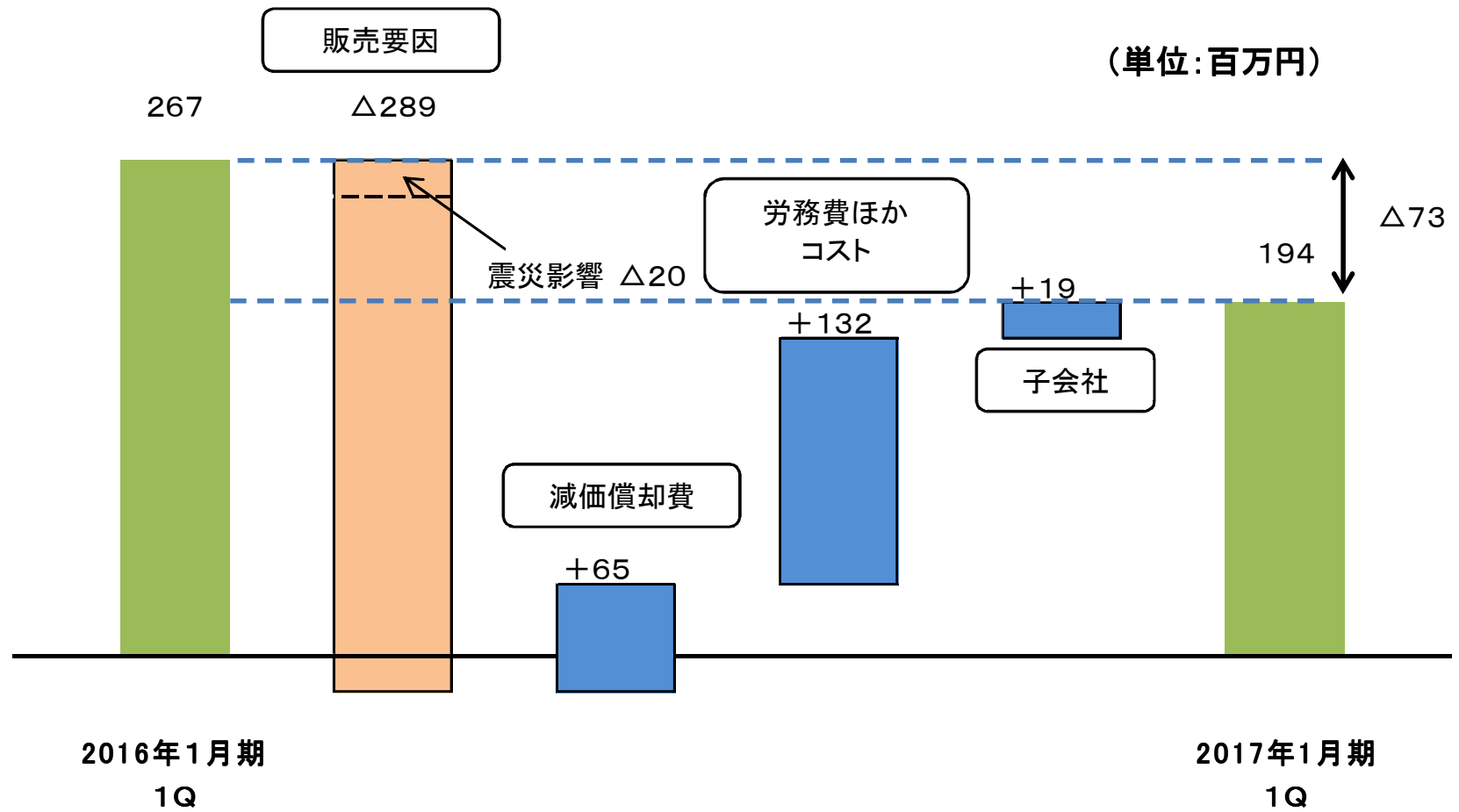
バランスシート

(単位:百万円)

	2016年4月末	2016年1月末	増減	備考
流動資産	11,314	12,325	△ 1,010	
(内、現預金)	(7,990)	(9,237)	(△ 1,247)	
固定資産	8,288	5,631	2,657	自社ビル取得
総資産	19,603	17,956	1,646	
借入金	1,516	18	1,498	同上資金
負債合計	4,370	2,468	1,902	
利益剰余金	14,661	14,959	△ 298	利益△208、配当△89
純資産合計	15,232	15,488	△ 256	
自己資本比率	77.7%	86.3%	△8.6%	



営業利益 増減益分析





2017年1月期業績予想

(単位:百万円・%)

	2017年1月期(予想) 第2四半期累計	
	金額	前年同期 増減率
売上高	3,150	△28.8%
営業利益	70	△83.8%
経常利益	210	△65.4%
特別損益	△ 490	-
当期純利益	△ 210	-

(参考)

	2017年1月期(前回予想) 第2四半期累計		2016年1月期(実績)	
	金額	前年同期 増減率	第2四半期 累計	通 期
	3,560	△19.6%	4,425	8,125
	20	△95.4%	431	470
	160	△73.7%	607	780
	-	-	△ 48	△ 344
	80	△79.0%	380	258



経営戦略 ～基本方針

1. 現存事業の競争力強化

コスト削減の徹底と
品質の造り込みにより、
市場でのポジションを向上。

	【プラスチック成形事業】			【成形機事業】
	工程容器	出荷容器	樹脂・金属加工	
	当社コア技術を 応用展開し 新製品開発、 販売チャネル拡大	<u>300mm</u> シェア確保	グループ内での 技術連携 による事業拡大	・縦型の特長を活か した特殊機拡販 ・成形機～金型～自 動化装置のセット販 売

2. 新たな収益源の構築

現存事業で培った技術、獲得した資金、
収集した情報等を活かし、
新たな収益源となるべき
新製品開発・新事業構築に取り組む。

新製品開発	新事業
・高機能プラスチック製品ラインの拡大 ・グループ内技術の深化・連携による新 分野開拓	・内外のリソースを活用したビジネス領域 の拡大

3. グループ総合力の発揮

グループ内の製販技機能の連携を強化し、付加価値の高い技術・サービスを提供するグループとして独自性を高める。



本日はありがとうございました

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 管理部

電話：03-3986-3782 FAX：03-3986-3853

E-Mail：investor_relations-m@miraial.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。



メモ